

【緊急情報】

高温、フェーン時の管理対策について

平成30年8月21日
糸魚川農業普及指導センター

日本気象協会は、今週は、**高温、フェーンの注意が必要であると発表**しました。現在、早生が成熟期に近づいており、コシヒカリは出穂期後20日程度と品質、収量に影響のある時期です。高品質米生産に向けて以下の高温、フェーン対策を行うようにして下さい。

気象予報（日本気象協会8月20日発表）
台風19号、20号の北上に伴って、**21日～24日にかけて高温に警戒**が必要です。8月23日～24日は、**台風19号の影響でのフェーン現象による高温の可能性**があります。

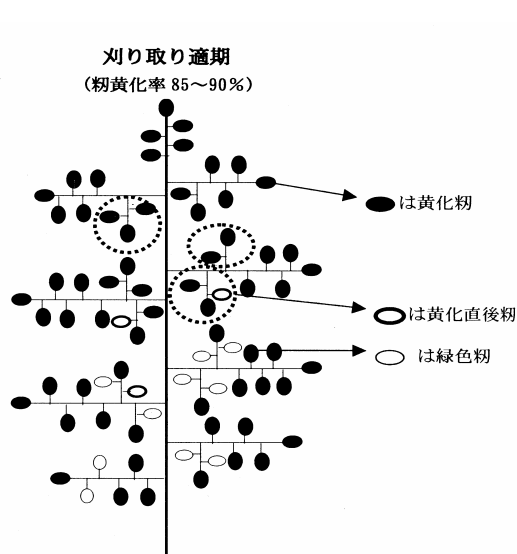
【今後の管理対策】

1 コシヒカリ、新之助

- フェーン現象による高温が予想される場合は、被害を軽減するため**速やかに湛水**しましょう。
- ほ場が乾きすぎると登熟不良となり、品質の低下につながるため**出穂期25日後までは飽水管理**を徹底しましょう。

2 こしいぶきなどの早生、極早生品種

- 収穫直前のフェーンで籾水分が急激に低下すると、胴割粒の発生が多発しますので、**黄化籾を確認して刈り遅れない**ようにして下さい。



黄化率85～90%が収穫適期（左図参考）

※図中の点線内（上位3～4本目の籾）が黄化した時期が収穫適期

※下位の枝梗に付着する籾が黄化せず、青みが残っている頃

図 収穫適期における1穂内の籾の黄化状況